

# 富士河口湖町立 教育センターだより

No. 13



平成28年9月21日 文責 遠山榮子

## 食物アレルギー 対応研修会

去る8月19日(金)、県のスポーツ健康課の高尾順子先生を講師に、町教育委員会主催で、町内の給食調理従事者のアレルギー研修会を行いました。年1回の研修会も3回目を重ね、今回は

36名が参加しました。

教育長から、1つの重大な事故の後ろには、29の小さな事故があり、29の小さな事故の後ろには、300のヒヤリとする事象があるという「ハインリッヒの法則」(右図)と「発生の防止こそ最大の対応である」という話がありました。

参加者は、給食の安心・安全にもあてはまる法則であり、300のヒヤリという事象0を目指し、熱心に講義に耳を傾けたり、調理場ごとに、具体的な対応策を話し合う演習を行ったりし、給食開始に備えました。

アレルギー対応やおいしくて工夫された給食には、多くの人の日々の努力が込められていることを再認識し、どの子にも、感謝をもって残さずに味わわせたいものです。



### ハインリッヒの法則



郷土学習会 アンケートの質問にお答えします。

### 浅間 「せんげん」と「あさま」、ちがうのはなぜ？

平安時代に活発な火山活動を繰り返していた富士山は、噴火を鎮めるために「浅間大神(あさまのおおかみ)」がまつられました。富士山の信仰は、神仏混淆(しんぶつこんこう)思想や密教の影響を受け、平安時代後期以降、「浅間大神(あさまのおおかみ)」は、大日如来の化身として現れた「神」と考えられるようになり、仏教的な菩薩号が与えられ、「浅間大菩薩(せんげんだいぼさつ)」と呼ばれるようになります。この伝統を引き継いで、現在多くの神社が「せんげん神社」と称しています。しかし、河口浅間神社は、噴火を鎮めるため朝廷の命令により建てたという経緯と歴史を尊重して「河口あさま神社」と称していると考えられています。 回答者 町教委 杉本悠樹さん

要望にお応えできました

### 中学英語

### デジタル教科書研修会

指導主事の梶原満先生より講義。教科書会社2社よりデジタル教科書活用事例の紹介と使用法の説明。授業改善のためのツールが増した。

